

教 師 ノ ー ト

日付	2011年 2月27日
単元	創世記・5
テーマ	自分に罪を犯した人をゆるす
タイトル	兄弟をゆるすヨセフ
テキスト	創世記42:7～45:28
参照箇所	
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	エペソ4:32 or 創世記50:20
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	小下 2 巻 5 題 8 課 、 小上 1 巻 1 題 9 課
メモ(情報・例話など) テキストの範囲が広いので、教師は聖書をよく読んで、ポイントをしっかりおさえましょう。 □導入 興味を起こす質問をしましょう。 ヨセフは、自分をエジプトに売った兄たちに再会します。自分にひどいことをした兄たちが、目の前にひざまずいているのです。しかもヨセフはすごい権力者になっていました。そのときヨセフがしたことは、復讐？いやがらせ？あなたなら、自分に罪を犯した人に、どんな態度で接しますか？ □ポイント1 ヨセフは兄たちと再会しました(42:7～43:34) 兄たちは、まさかエジプトの総理大臣がヨセフだとは、全く気がつきませんでした。しかし、ヨセフは、彼らが自分の兄たちだと、すぐにわかりました。ヨセフは、荒々しいことばで、「お前たちは敵国のまわしものだろう、…間者でないことを証明するために、末の弟をつれて来い」と言いました。そうすることで、父と弟の安否を探ろうとしたのです。ヨセフはシメオンを人質にしました。兄たちは「昔、ヨセフにひどいことをしたからなあ。あの時ヨセフを助けなかったから、今私たちが苦しみを受けているのだ」と互いに言いました。ヨセフは、思いがけず、兄たちが自分にしたことを悔いる、偽りのない心を垣間見ました。一方ヤコブは断固としてベニヤミンを行かせることを拒みました。しかし、ききんはさらにひどくなり、もう1度エジプトに食料を調達に行かなければならなくなりました。ベニヤミンを連れて行かないわけにはいきません。ユダが必ずベニヤミンを連れて帰る保障をして説得すると、ヤコブは納得しました。そして、神にゆだねる信仰を持って彼らを送り出しました。ヨセフは兄弟たちと食事をすることにしました。ベニヤミンを見ると、胸が熱くなり、隠れて泣きました。 👉 エジプトの国は、外敵に攻められないように、スパイ侵入には厳しい警戒態勢をいっていました。 👉 兄たちと再会したときヨセフの心の中は複雑でした。ヨセフは、まさきに、父ヤコブと弟ベニヤミンのことが心配になったでしょう。なぜなら、自分を殺そうとした10人だけがエジプトに来て、ヤコブとベニヤミンは一緒ではないからです。「まさか兄さんたちは父と弟も殺したのでは…？」正体を明かしても、兄たちが真実を語ってくれる保障はありません。ヨセフは、どうやってふたりの安否を確かめようか考えました。また、ヨセフのことをまだ憎んでいるのか知る方法を考えました。そこで彼らをスパイ容疑にかけることにしたのです。荒々しい口調になったのは、苦い思い出・再会の喜び・首相としての立場・懲らしめるため・試すため・バレないようにするためなど、さまざまな解釈がありますが、どれかひとつにではなく、すべてが複雑にヨセフの心の中で激しく動いていたと思われます。 さらにヨセフは、初めに見た夢が実現したことにも気づきました。これもヨセフの心を複雑な気持ちにさせました。1つめの夢が現実になったということは、2つめの夢も同じように実現するということです。そうだとすると、父と母もヨセフにひざまずくことになりますが、もう1度父と母に合えるということです。そう考	

えると、ますます両親と弟に会いたいという欲求が強まってきました。同時に、両親が本当に無事に生きているのか、心配にもなったでしょう。

👉なぜ兄たちの袋に銀貨を入れたのか？家族への親切心、泥棒として陥れるため、ヨセフを金で売ったことを暗示させるため、金を持ち帰りシメオンを見捨てるかどうか試すため・・・ひとつの理由に限定して解釈することは困難です。ヨセフ自身も、複合した動機をもっていたはずです。

□ポイント2 ヨセフは兄たちの心を見ました(44章)

食事の後で、ヨセフはしもべに、「あの人たちの袋に食料を入れて銀貨を返しなさい。ベニヤミンの袋には、私の銀の杯を入れなさい。」と言いました。そして、兄弟たちが家路についてしばらくしてから、しもべたちに彼らを追わせ、「なぜご主人様の杯を盗んだのか！」と言うように命令しました。彼らには身に覚えのないことですが、調べると、ベニヤミンの袋から銀の杯がでてきました。兄弟たちはヨセフのところに引き返しました。ヨセフは彼らに「(罰として)ベニヤミンを奴隷にする」と言いました。するとユダが「父はすでにヨセフという愛する息子をなくしました。ベニヤミンまで失ったら悲しみのあまり死んでしまうでしょう。私は父にベニヤミンの命は保障すると約束しました。どうか弟の身代わりに私を奴隷にしてください。」と自分を犠牲にして必死でお願いしました。

□ポイント3 ヨセフは兄たちをゆるしました(45章)

ヨセフはそれを聞いて、もうヨセフを殺そうとした以前の兄たちのようではないことをハッキリと確信しました。そして、こらえきれなくなり大声で泣きながら、「私はあなた方が売った弟ヨセフです。」ヨセフは兄たちを責めることをしませんでした。それは、これまでのことは全て、神の計画であったことを信じ、彼らを赦していたからです。兄たちがヨセフを売ったのも、神が彼を先にエジプトに遣わして、エジプトの統治者とし、家族の命を救うためだったと説明しました。すべては神の御手の内にあったことを確信したのです。ヨセフは兄弟ひとりひとりを抱きしめて泣きました。そして、家族をエジプトに呼び寄せました。パロもヨセフの兄弟が来たことを喜びました。父ヤコブはヨセフが生きていて、エジプトの支配者になっていることを聞いても信じられず、初めはぼんやりしていました。ヤコブ一家は、エジプトに移り住みました。

□結論 ヨセフは自分に罪を犯した兄たちをゆるしました

暗唱聖句を読み上げます

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

例①あなたに罪を犯した人を、赦すお祈りをしましょう。ヨセフは兄たちにひどいことをされました。けれど、ヨセフは復讐するのではなく、兄たちを赦しました。あなたも誰かに傷つけられたことがありますね。意地悪をされたことがありますね。本当につらかったでしょう、苦しかったでしょう。しかし、それをうらみ続けたり、復讐してはいけません。ヨセフがもし兄たちをうらみ続けたら、どうなっていたでしょうか？赦さない心でいると、どんどん苦い思いが心からみついてきます。人間関係もドロドロになります。しかし、赦すことができたなら、その思いから解放されます。自分に対して罪を犯す人を、自分から赦すのは、とっても難しいことです。しかし、それはイエスさまが私たちにしてくださったことです。ですから私たちも同じようにすべきです。傷ついた心をイエスさまにいやしていただき、あなたもその人を赦すお祈りをしましょう。イエスさまが必ず助けてくださいます。